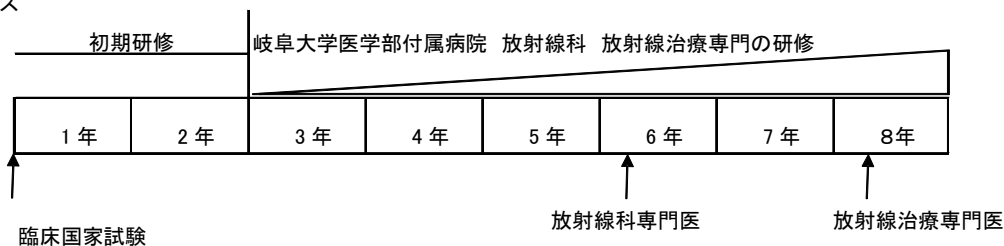


放射線治療専門医コース

(1) コースの全体像

放射線治療患者の急増にともない放射線治療専門医の需要が急増している。癌患者さんの診察の仕方、悪性腫瘍に対する放射線治療の適応、放射線治療計画、密封小線源の手技、高精度照射の実際、治療後の経過観察を行う。また腫瘍学全体の幅広い知識と他のがん治療法や診断についても学ぶ。放射線治療に関する研究を行い、国内や海外での学術発表、論文作成を行い、日本医学放射線学会専門医（放射線治療専門医）を取得する。

治療コース



(2) コースの概要

大学病院・医療機関名	診療科名	専門分野名	指導者数	目的	養成(受入)人数	期間
岐阜大学医学部附属病院	放射線科	放射線医学	3名	放射線学会 放射線治療 専門医	5名	約6年
				受入人数	5名	

(3) コースの実績

卒後 3-5 年目：岐阜大学および総合修練施設（放射線治療専門医常勤施設）で、放射線治療を中心に画像診断も含めた研修し卒後 6 年目で放射線科専門医受験、資格を得る。卒後 6, 7 年目：岐阜大学およびでの放射線治療, がん治療専門施設で研修し放射線治療中心の研修-特殊治療、高精度治療の研修、悪性腫瘍全体の他治療を含む研修、臨床でのリサーチや研究を行う。卒後 8 年目で放射線治療専門医試験を受験し資格を得、合格すると放射線治療医専門医に登録、資格が取得できる。また同時に日本がん治療認定医機構のがん治療認定医の取得も可能である。

(4) コースの指導状況

放射線治療専門医には腫瘍学の幅広い知識と高精度放射線外部照射に関する専門的な知識、治療計画、組織内照射や腔内照射などの手技の習得が必要である。また悪性腫瘍全体の化学療法など他治療法や診断を含めた幅広い知識も必要である。研修指導医には放射線治療専門医、放射線腫瘍学会認定医、日本がん治療認定医機構のがん治療認定医がおり、また放射線腫瘍学会認定施設でもあるので高精度治療、特殊な放射線治療技術やその他幅広いがん治療に対して指導可能である。

(5) 専門医の取得等

学会等名	日本医学放射線学会
資格名	放射線治療専門医
資格要件	初期研修終了後 3 年目から日本医学放射線学会、日本放射線腫瘍学会入会后、3 年後に放射線科専門医、6 年目(卒後 8 年目)に放射線治療専門医の受験資格を得る 同時に日本がん治療認定医機構のがん治療認定医の取得も可能
学会の連携等の概要	日本放射線腫瘍学会の連携が考慮される。 放射線治療専門医試験問題作成, 試験官担当 研修医セミナーなど, 放射線科専門医試験制度に参画, 協力している。